

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年5月12日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部文学科文芸メディア専攻
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2025年5月10日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	アーカンソー州立大学(日本語名) Arkansas State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年8月～2025年5月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月中旬～12月中旬 2 学期: 1月初旬～5月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 14000 人
創立年	1909 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (\$) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため
宿舍費	\$ 6600	万円	\$ 3300(1 学期)
食費	\$ 5415	円	カフェテリア \$ 4415(2 学期)+諸食費
図書費	0	0 円	
学用品費	\$ 400	円	教科書はレンタルをお勧めします。オンラインの教科書のレンタルはなかったため、購入する必要がありました。(1 冊\$150)
携帯・インターネット費	0	0 円	ソフトバンク アメリカかけ放題のため
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$ 300	円	友達との娯楽費
旅費(留学中)		50 万円	現地での旅行費
被服費	\$300	円	現地で冬物を調達しました。
医療費	0	0 円	
保険費	\$ 350	円	形態: インターナショナル生徒は支払い義務のある保険。支払わないと履修登録ができません。
渡航旅費		170000 円	マイルを使って購入したので少し安く抑えることができました。
ビザ申請費		約 65000 円	ビザ+SEVIS
雑費		約 75000 円	掃除道具や食器用洗剤などの日用品
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	\$ 13365 (=200 万円)	81 万円	
総計(A+B) ※円		281 万円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

日本大使館からくる情報を参考にしていた。また友人を通じて、どこが危険なのかを教えてもらいました。春はハリケーンが多く、大学からの避難警告もあったが落ち着いて指示通り避難できれば、大丈夫です

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

構内や寮内はwifiが通っているた、特に問題はありませんが時々wifiが弱くなったり、使えなくなることがあったため少し不便でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを2枚持参しました。(何らかの問題でカードが使えないことがあるため、2枚持って行った方がよいと思います。) 留学中の支払いは、ほとんどカードで行いますが、友達との割り勘や旅行先でのチップの支払いなどでどうしても現金は必要になるため、持参することをお勧めします。学内に銀行口座(central bank)を作りましたが、あまり意味がなかったように感じました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本食や日本のお菓子。町にasian marketはありますが、高いので日本から持っていくとよいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: 留学出発前に必要単にはすべて取り切っていたから)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった: 留学生は上級のクラスの受講において制限があります。(内容が難しいので)		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Composition I		文章構成 I
科目設置学部・研究科	English	
履修期間	Fall 2024	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	基本は講義、時々ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Chase Weller	
授業内容	論文の書き方を学ぶ。基本的なルールや構成の仕方、参考文献の引用の仕方などを講義形式で学んだあと、実際にそれを活用しながら論文を書く。	
試験・課題等	大きなレポート(1000words)を 3, 4 本	
感想を自由記入	composition の授業は教授によって大変さが異なると思います。私の教授は優しい型で、質問にも快く答えてくれました。この授業で得た英語で論文を書く上での基本的なルールは、他の授業の writing の課題でも生かすことができたと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Interactive advertising	デジタル広告論
科目設置学部・研究科	Strategic communication
履修期間	fall 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Manu Bhandari
授業内容	デジタルマーケティングの基礎を学ぶ
試験・課題等	オンラインの教科書を用いて毎週 reading と小テストをこなします。授業では、前半が講義で後半は授業内容を基に writing を行います。試験は対面で筆記でした。
感想を自由記入	渡米前から受講を楽しみにしていた授業の1つでした。毎週の課題も少し多めで、ないより授業課題を授業内に終わらせなくてはいけなかったため、かなり大変でしたが教授がとても良い人で、授業内容も充実していて大満足でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Marketing
履修期間	fall 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Eric Narcum
授業内容	マーケティングの基礎を学ぶ
試験・課題等	課題はほとんどない。授業終わりにオンラインで小テストに取り組むが、クラスメイトと協力することができるので心配ない。1学期間に対面の試験が4回ある。
感想を自由記入	完全講義で課題がほとんどない授業であるため、積極的に授業を聞き参加しようとするのが求められると思います。授業はとても分かりやすく、毎週楽しみにしていた授業の1つでした。また、教授がとても良い人だったため、春学期にも引き続き同じ教授が開講する別の授業(professional selling)も受講しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Oral communication	口語表現
科目設置学部・研究科	communication strategies
履修期間	fall 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Allen Moore
授業内容	コミュニケーションの基礎やプレゼンテーションの仕方などを学ぶ。教授による短い講義を聞いた後に、グループでディスカッションを行う。
試験・課題等	課題はほとんどない。1学期間に大きいプレゼンテーションを4回行う。プレゼンテーションによっては、その原稿を提出する必要がある。
感想を自由記入	クラスメイトとコミュニケーションをとる機会が必然的に多くなるので、友達を作ることができました。プレゼンテーションは緊張しましたが、何より英語に触れる機会が一番多かった授業だったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Advertising and Strategies	広告戦略論
科目設置学部・研究科	strategic communication
履修期間	spring 2025
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Rachel Freeze
授業内容	広告論の基礎や戦略について包括的に学び、実際に自分たちでも立案する授業。前半は教授の講義、後半はグループワークで授業内課題をこなした。
試験・課題等	毎週指定された範囲のオンライン教科書を読み、小テストに答える。それと別途、writingの課題も時々ある。期末試験はオンラインだったので比較的楽だった。
感想を自由記入	グループでプレゼンをしたり、広告案を考えたりコミュニケーション力が求められる授業でした。課題はそこまで多くなく、自分の好きな分野だったため楽しみながら受講することができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Priciples of Strategic Communication	戦略的コミュニケーション論
科目設置学部・研究科	strategic communication
履修期間	spring 2025
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Rachel Freeze
授業内容	広告・広報の基礎やブランドプロモーションについて学ぶ
試験・課題等	毎週配布される教材を読み、オンラインで小テストに答える。それに加えて。discussion board を用いて授業内容課題に取り組む。基本は writing で 300words くらい。
感想を自由記入	オンラインの授業は、自分で課題の内容とその締め切りを確認し各自で進める必要があるため、向き不向きがあるかもしれません。私は、課題を週末まで貯めてしまい、締め切り前にまとめてやるが多かったため、少し大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Professional Selling	プロフェッショナルセールス
科目設置学部・研究科	marketing
履修期間	spring 2025
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 & チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Eric Narcum
授業内容	セールス手法について学ぶ
試験・課題等	課題はほとんどない。授業終わりにオンラインで小テストに取り組むが、クラスメイトと協力することができるので心配ない。1学期間に対面の試験が 4 回ある。
感想を自由記入	基本は講義形式です。学んだことを用いて、グループワークとしてチュートリアルを 2 回行う必要がありました。試験は少し大変でしたが、教授がとても良い人だったため、毎回の授業が楽しみでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Video Production I	映像制作
科目設置学部・研究科	media
履修期間	spring 2025
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dustin Sullivan
授業内容	本格的なカメラを用いた撮影方法と映像編集方法について学ぶ。また、番組制作のアシスタントもする。
試験・課題等	2週に1回ほどオンラインで小テストに取り組む。また、学期内に大きな課題として映像を4つほど仕上げる。中間・期末試験はなし。
感想を自由記入	春学期に受講した講義の中で1番楽しかった授業でした。また、この授業を通して本格的な機材に触れる機会が多く、番組制作に携わることもできたため、様々な経験をすることができた授業でした。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

英国の大学院に進学予定です。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

大学院入学においても、GPAは重視されるため引き続き良い成績を取っておくことをお勧めします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFL 勉強
	8月～9月	TOEFL 勉強、出願書類の作成開始
	10月～12月	学内選考応募
留学開始年	1月～3月	学内選考合格
	4月～7月	履修登録、寮の申し込み、VISA の取得など
	8月～9月	渡米、アメリカでの生活に慣れる
	10月～12月	秋学期: 中間試験(10月末)、期末試験(12月上旬)→冬休み
留学/帰国年	1月～3月	春学期
	4月～7月	期末試験(5月上順)→帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がこの留学先を選んだ理由は、広告学やマーケティング、映像制作に興味があり、それらを本格的に学べる環境が整っていたからです。特に映像制作の授業では、実際に現地の番組制作に携わることができるなど、日本の大学ではなかなか得られないような貴重な体験をすることができました。現場のリアルを知ることで、自分の興味や将来について深く考えるきっかけにもなりました。

実際に生活してみると、アメリカの中でも田舎にある大学だったため、娯楽が少なく、交通手段にも不便さを感じるがありました。街に出るには Uber などを使わなければならない、最初は戸惑うことも多かったです。しかし、そのような環境だからこそ、友人たちと日常の中で工夫して楽しみを見つけるようになり、かけがえのない思い出がたくさんできました。また、アメフトやバスケの試合など、アメリカの大学ならではの大規模なイベントも多く、学校全体で一体感を味わうことができたのはとても印象的でした。

2 学期間の留学を通して、一番大きく実感したのは積極性の大切さです。英語力に自信がなくても、自分から話しかけてみることで、少しずつ友達が増え、自然とコミュニティに溶け込んでいくことができました。逆に、誰かに話しかけられるのを待っているだけではなかなか関係は広がりません。英語力も、ただ留学すれば伸びるわけではなく、自分から使う機会を作っていく必要があると感じました。

最後に、これから留学を考えている皆さんに伝えたいのは、「留学は本当に世界を広げてくれる経験」だということです。これまで自分が見てきた世界がいかに狭かったかを痛感し、価値観が大きく変わるきっかけになりました。時間もお金もかかる挑戦かもしれませんが、それ以上に得られるものは計り知れません。少しでも興味があるなら、ぜひ一歩踏み出してみてください。きっと、自分自身の成長を実感できるはずです。